

平成28年（2016年）2月29日

「相鉄瓦版」が創刊40周年を迎えます

—最新号を記念特別企画でお届けします—

相鉄ホールディングス株式会社

相鉄ホールディングス(株)（本社・横浜市西区、社長・林英一）が発行している広報誌「相鉄瓦版」が、平成28年（2016年）3月で創刊40周年を迎えます。

相鉄瓦版は昭和51年（1976年）3月に創刊された文庫本タイプの無料広報誌です。相鉄線にご乗車いただいている間（横浜～海老名駅・特急利用で26分、横浜～湘南台駅・特急利用で24分）に読み切れるボリュームと、カバンやスーツのポケットにも入る文庫本サイズが好評で、著名人へのインタビューをはじめ文芸評論からスポーツ、雑学集までさまざまなテーマを毎号特集し、相鉄線をご利用のお客様や沿線の皆様に親しまれています。

平成28年（2016年）3月1日に発行する相鉄瓦版（通巻234号）を創刊40周年の記念号として、特別企画「私たち、昭和51年生まれです」をテーマに、昭和51年にゆかりのあるエピソードを特集します。誌面では、昭和51年（1976年）4月8日に二俣川駅からいずみ野駅間が開業したことから当時の資料や写真を紐解きながら変遷をたどる「いずみ野線誕生物語」、黒柳徹子さんの司会で昭和51年（1976年）2月2日から放送が始まったテレビ番組「徹子の部屋」（テレビ朝日系列）のプロデューサーに番組にまつわるお話を伺った『「徹子の部屋」の通奏低音』、昭和51年（1976年）生まれで映画コメンテーターとしてテレビを中心に幅広く活躍している有村昆（ありむらこん）さんにアメリカ映画について伺った「1976年～アメリカ映画の転換期～」の3つで構成しており、老若男女問わずお楽しみいただける内容です。相鉄瓦版は、相鉄線各駅などで無料配布しています。

概要は別紙のとおりです。



40年にわたりご好評をいただいている「相鉄瓦版」。現在の表紙デザインは12代目

(別紙)

「相鉄瓦版」の概要

名 称	相鉄瓦版 (そうてつかわらばん)
発行部数	100,000部
創 刊	昭和51年(1976年)3月
発 行	年8回
配布場所	相鉄線全駅をはじめ相鉄グループのショッピングセンターなど
サイズ他	A6版(全ページカラー)・56ページ
ホームページ	http://www.sotetsu-group.co.jp/kawaraban/

「相鉄瓦版第234号」(3月1日発行)の概要

発行日	平成28年(2016年)3月1日(火)
発行部数	100,000部
配布場所	相鉄線全駅をはじめ相鉄グループのショッピングセンターなど
サイズ他	A6版(全ページカラー)56ページ
特集内容	相鉄瓦版40周年記念特別企画「私たち、昭和51年生まれです」

第1章 いずみ野線誕生物語

昭和51年(1976年)4月8日に二俣川駅からいずみ野駅間が開業したことから当時の資料や写真を紐解きながら変遷をたどります。

第2章 「徹子の部屋」の通奏低音

黒柳徹子さんの司会で昭和51年(1976年)2月2日から放送が開始された「徹子の部屋」のプロデューサーに番組にまつわるお話を伺いました。

第3章 1976年～アメリカ映画の転換期～

昭和51年(1976年)生まれで映画コメンテーターとしてテレビを中心に幅広く活躍している有村昆(ありむらこん)さんにアメリカ映画について伺いました。